



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 エスケー化研株式会社
コード番号 4628 URL <http://www.sk-kaken.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 実広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 竹内 正博

TEL 072-621-7720

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	45,021	0.5	5,498	9.1	5,982	51.6	4,107	48.4
29年3月期第2四半期	44,779	0.0	6,046	11.0	3,945	24.5	2,766	20.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 3,742百万円 (442.5%) 29年3月期第2四半期 689百万円 (80.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	304.54	
29年3月期第2四半期	204.86	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	120,632	99,449	82.4	7,376.08
29年3月期	118,616	96,690	81.5	7,166.06

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 99,449百万円 29年3月期 96,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		65.00	65.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	3.5	12,600	0.5	13,300	3.8	9,400	4.8	696.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	15,673,885 株	29年3月期	15,673,885 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	2,191,114 株	29年3月期	2,181,114 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	13,487,057 株	29年3月期2Q	13,505,794 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く緩やかな回復基調となりましたが、個人消費は力強さに欠け、依然として足踏み状態が続いております。また、米国政権の経済政策の停滞や中国をはじめとするアジア新興国の経済減速懸念等により、世界経済の先行きは不透明な状況が続いています。

建築塗料業界におきましては、首都圏を中心とした大規模再開発が進行しております。一方、建築現場の慢性的な労務者不足による工事の遅れ、需給バランスの崩れ、建築費・人件費の高騰等、厳しい市場環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、引き続き、新築市場だけでなく膨大な住宅その他のストックを抱えるリニューアル市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、都市グリーン化推進や環境問題に対応し省エネタイプの遮熱材、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗材や耐火被覆・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は450億21百万円（前年同四半期比0.5%増）となりました。利益面におきましては、人員の増強に伴う人件費の増加等により、営業利益は54億98百万円（同9.1%減）、経常利益は為替変動の影響等により59億82百万円（同51.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は41億7百万円（同48.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①建築仕上塗材事業

建築仕上塗材事業におきましては、新築需要が減少いたしました。主にリニューアル市場において超耐久性塗料や超低汚染機能で差別化された省エネタイプの遮熱塗料等の販売を行い、売上高は410億95百万円（同0.2%増）と前四半期連結累計期間に比べて78百万円の増収となりました。セグメント利益は62億19百万円（同6.9%減）と前四半期連結累計期間に比べて4億63百万円の減益となりました。

②耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、首都圏で再開発事業における受注が拡大しており、売上高は30億7百万円（同8.6%増）と前四半期連結累計期間に比べて2億37百万円の増収となりました。セグメント利益は3億24百万円（同0.3%減）と前四半期連結累計期間に比べて1百万円の減益となりました。

③その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は9億18百万円（同7.4%減）と前四半期連結累計期間に比べて73百万円の減収となりました。セグメント利益は1億3百万円（同35.2%減）と前四半期連結累計期間に比べて56百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて20億16百万円増加し、1,206億32百万円（前連結会計年度末比1.7%増）となりました。

増加した主なものは、現金及び預金25億62百万円（同3.6%増）、受取手形及び売掛金7億76百万円（同3.8%増）、減少した主なものは、投資その他の資産のその他12億71百万円（同36.3%減）であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて7億43百万円減少し、211億82百万円（前連結会計年度末比3.4%減）となりました。

減少した主なものは、未払法人税等3億61百万円（同16.1%減）、賞与引当金2億78百万円（同18.0%減）、支払手形及び買掛金2億78百万円（同4.6%減）であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて27億59百万円増加し、994億49百万円（前連結会計年度末比2.9%増）となりました。

増加した主なものは、四半期純利益を含む利益剰余金32億30百万円（同3.3%増）、減少した主なものは、為替換算調整勘定3億75百万円（同37.0%減）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、計画通り推移しており、平成29年5月11日に公表しました平成30年3月期の連結業績予想通期に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	70,794	73,357
受取手形及び売掛金	20,213	20,990
商品及び製品	2,199	2,109
仕掛品	1,027	991
未成工事支出金	177	210
原材料及び貯蔵品	4,058	4,171
繰延税金資産	730	603
その他	451	648
貸倒引当金	△62	△52
流動資産合計	99,590	103,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,516	4,480
機械装置及び運搬具(純額)	721	652
土地	8,340	8,346
建設仮勘定	107	107
その他(純額)	81	77
有形固定資産合計	13,767	13,665
無形固定資産	1,092	1,071
投資その他の資産		
投資有価証券	14	14
繰延税金資産	256	255
退職給付に係る資産	538	550
その他	3,506	2,235
貸倒引当金	△150	△190
投資その他の資産合計	4,165	2,865
固定資産合計	19,025	17,602
資産合計	118,616	120,632

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,983	5,705
短期借入金	3,030	3,030
未払金	5,338	5,497
未払法人税等	2,245	1,884
賞与引当金	1,545	1,267
役員賞与引当金	88	44
製品保証引当金	49	51
その他	1,237	1,248
流動負債合計	19,519	18,728
固定負債		
繰延税金負債	41	41
役員退職慰労引当金	1,109	1,120
退職給付に係る負債	71	68
その他	1,185	1,223
固定負債合計	2,407	2,453
負債合計	21,926	21,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	99,333	102,563
自己株式	△9,399	△9,505
株主資本合計	95,732	98,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	2
為替換算調整勘定	1,016	640
退職給付に係る調整累計額	△60	△49
その他の包括利益累計額合計	957	593
純資産合計	96,690	99,449
負債純資産合計	118,616	120,632

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	44,779	45,021
売上原価	30,563	31,032
売上総利益	14,216	13,989
販売費及び一般管理費	8,169	8,491
営業利益	6,046	5,498
営業外収益		
受取利息	128	132
受取配当金	0	0
仕入割引	35	34
為替差益	—	280
雑収入	52	45
営業外収益合計	216	493
営業外費用		
支払利息	13	4
売上割引	0	1
為替差損	2,302	—
雑損失	1	2
営業外費用合計	2,317	9
経常利益	3,945	5,982
税金等調整前四半期純利益	3,945	5,982
法人税、住民税及び事業税	979	1,752
法人税等調整額	199	122
法人税等合計	1,178	1,874
四半期純利益	2,766	4,107
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,766	4,107

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	2,766	4,107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	△2,091	△375
退職給付に係る調整額	14	10
その他の包括利益合計	△2,076	△364
四半期包括利益	689	3,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	689	3,742
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,945	5,982
減価償却費	275	250
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	31	34
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△337	△278
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△43	△44
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2	△2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14	10
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	0	1
受取利息及び受取配当金	△128	△132
支払利息	13	4
為替差損益 (△は益)	2,134	△260
固定資産除売却損益 (△は益)	0	△2
売上債権の増減額 (△は増加)	758	△836
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△184	△43
仕入債務の増減額 (△は減少)	△43	△259
その他	△645	139
小計	5,792	4,563
利息及び配当金の受取額	117	137
利息の支払額	△12	△4
法人税等の支払額	△1,288	△2,293
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,609	2,402
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△27,878	△10,098
定期預金の払戻による収入	21,624	12,030
固定資産の取得による支出	△195	△166
固定資産の売却による収入	0	6
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△195	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,645	1,821
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,030	1,030
短期借入金の返済による支出	△2,030	△1,030
自己株式の取得による支出	△192	△106
配当金の支払額	△877	△876
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,069	△982
現金及び現金同等物に係る換算差額	△843	213
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,949	3,454
現金及び現金同等物の期首残高	37,417	53,179
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,467	56,634

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式10,000株の取得を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1億6百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が95億5百万円となっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	41,017	2,770	43,788	991	44,779	—	44,779
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	1	1	△1	—
計	41,018	2,770	43,788	992	44,781	△1	44,779
セグメント利益	6,683	325	7,008	159	7,167	△1,120	6,046

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,121百万円、セグメント間取引消去0百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	41,095	3,007	44,103	918	45,021	—	45,021
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	0	1	△1	—
計	41,096	3,007	44,103	918	45,022	△1	45,021
セグメント利益	6,219	324	6,543	103	6,646	△1,148	5,498

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,149百万円、セグメント間取引消去0百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。